政務活動費収支報告

「政務活動費」とは…

議員が行う調査や研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部を交付するもので、菊川市では議員1人当たり年額10万円を限度に、会派及び会派に所属していない議員へ申請に基づき交付しています。

令和4年度の交付額は次のとおりです。

・みどり21　130万円
・市民ネット　20万円
・会派に所属しない議員（2人）　各10万円

令和４年度政務活動費収支報告

（単位：円）

項目 ＼ 会派名		みどり21	市民ネット	織部光男議員	横山隆一議員	合　計
収入	交付額	1,300,000	200,000	100,000	100,000	1,700,000
	雑収入	9	0	0	0	9
	計	1,300,009	200,000	100,000	100,000	1,700,009
支出	調査研究費	0	0	0	0	0
	研修費	308,300	108,000		0	416,300
	広報費	313,830	92,000	100,000	100,000	605,830
	広聴費	0	0	0	0	0
	要請陳情活動費	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0
	資料購入費	15,400	0	0	0	15,400
	人件費	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0
	その他の経費	180,968	0	0	0	180,968
	合計	818,498	200,000	100,000	100,000	1,218,498
残　余　金		481,511	0	0	0	481,511

※残余金については、市に返還済です。
※会派 至誠の絆については、令和４年度の政務活動費は交付しておりません。

議会改革度調査2022

早稲田大学マニフェスト研究所が発表した「議会改革度調査2022」において、菊川市議会は全国総合57位（前年度50位）、静岡県内1位（前年度1位）との評価を受けました。

菊川市議会では、ＩＣＴの推進や議会改革推進のため委員会設置を行い、これまでの取り組みも含めて評価されたものと思われます。

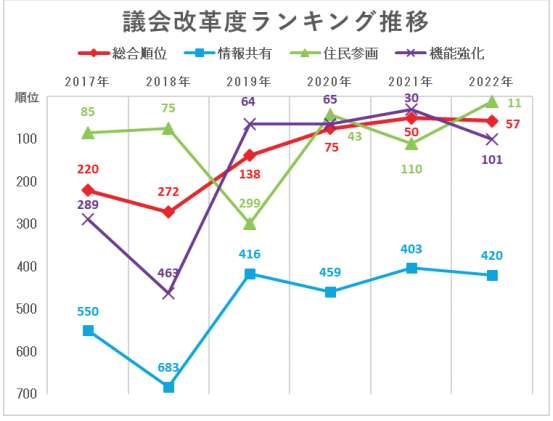
議会改革度調査とは

早稲田大学マニフェスト研究所が、全国の地方議会に対し、前年1年間の議会活動の取り組みなどを調査し、数値化する事でランク付けし公表しております。今回は、回答数1416議会（回答率79・2％）でした。

調査の観点は、議会が果たすべき役割として3つの柱をあげ、改革度合を数値化し、ランキング化しています。

【調査の観点】

・情報共有（本会議などの議事録や交際費視察結果の公開具合と検証）
・住民参画（傍聴のしやすさ、議会報告会などの実施、住民意見の徴収）
・議会機能強化（議会本来の権限・能力を発揮するための機能強化状況）



今後もより良い議会となるよう取り組んでいきます。